

株主のみなさまへ

2010年度 中間報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法 電子公告の方法により行います。
(お知らせ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.nipponroad.co.jp/>

郵便物送付先・電話お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	

【株式に関するお手続きのご案内】

株式に関するお手続き（住所変更及び単元未満株式買取請求等）につきましては、証券会社等をご利用の場合は、引き続きご利用の証券会社等へお問い合わせください。
また、特別口座をご利用の場合及び未払配当金につきましては、上記の「電話お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324」にお問い合わせください。

【配当金等のお受取り】

配当金等のお受取りには、安全・確実・便利な口座振込等をおすすめします。詳しくは、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



東京都港区新橋一丁目6番5号
ホームページアドレス <http://www.nipponroad.co.jp/>



株主のみなさまへ



代表取締役社長
三好武夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2010年9月30日をもって、2010年度（2010年4月1日から2011年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の状況についてご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

営業概況

当上半期における日本経済は、景気に回復の兆しが見えたものの、失業率が依然として高水準で推移していることに加え、急激な円高の進行、株式市場の低迷等により足踏み状態が続き、先行きも不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業である建設業界におきましては、民間設備投資や住宅建設は持ち直しつつあるものの、公共投資は総じて低調に推移しております。

このような状況下、当社グループの業績は、工事受注高は417億4千万円（前年同期比18.3%減）、完成工事高は432億3千9百万円（同27.8%増）、製品等を含めた総売上高は543億5千9百万円（同19.1%増）となり、利益につきましては、営業利益1億1千6百万円（同79.5%減）、経常利益7千万円（同87.4%減）、四半期純損失7千3百万円（前年同期は2億7千1百万円の四半期純利益）となりました。

今後の道路建設業界におきましては、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策に基づく2010年度補正予算の執行が期待されますが、公共事業費の大幅削減による建設工事売上の長期低落傾向は継続しております。また、舗装工事量減少に伴うアスファルト合材製造数量の落ち込み、舗装原材料（ストレート・アスファルト）価格の高止まり等により、当社グループを取り巻く競争環境は厳しさが予想されますが、概ね想定した範囲内であることから、通期業績につきましては期首計画どおり、総売上高は1,350億円、営業利益34億円、経常利益34億円、当期純利益17億円を見込んでおります。

今後とも、目標達成に向けて取り組んでまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

<中期経営計画>

当社グループは2010年4月に中期経営計画NVP2012（2010.04.01～2013.03.31）をスタートさせました。

事業環境の変化をチャンスととらえ、利益重視の基本スタンスを徹底しながら、CSR経営を推進し、引き続き『持続的な利益ある成長と飛躍の実現』を目指し、グループ全体での企業価値向上を図って、社会とともに持続的成長を実現する企業を目指します。

<NVP2012の経営理念>

CSR経営を推進することによって、社会から信頼され、存続を望まれる企業になるとともに、持続可能な社会づくりに貢献する。

<NVP2012のビジョン>

基本コンセプト

1. 経営基盤の継続的強化
・量より質を追求する
2. CSR経営の推進
・CSRを企業価値にする
3. 活力ある組織・風土づくり
・目標にチャレンジする

当社グループの目指す姿

高い技術力と提案力によって、顧客から信頼され、社会とともに持続的成長を実現する企業を目指す

事業別基本戦略

- 1 工事業戦略
～営業提案力と価格競争力の強化
- 2 製品事業戦略
～適正な販売価格の維持と事業規模の確保
- 3 グループ事業戦略
(1) 海外事業戦略～利益の伴う海外事業の拡大
(2) 建設関連会社戦略～利益確保と営業所の関与強化
(3) 直轄子会社戦略～新分野への挑戦

新規事業展開

(1) アクネス佐久平



アクネス佐久平（長野県佐久市）

当社は、子会社であるスポーツメディア(株)を通じて、高齢化社会のニーズにマッチした健康増進施設「アクネス佐久平」を健康長寿都市である長野県佐久市に2010年7月1日オープンしました。

水中運動施設を主体に、高齢者やりハビリ中の人向けに特化するとともに、デイサービス機能も併設しています。地域の医療機関と連携し、市民に喜ばれる施設を目指しています。

(2) 交通安全教育施設整備・運営事業（PFI）



豊田市交通安全学習センター（愛知県豊田市）

当社が代表企業を務める「豊田市交通安全教育施設PFI事業」が、2010年4月にオープンし、2025年までの15年間にわたり維持管理・運営を行っていく予定です。

“くるまの町”豊田市民を対象に、「体系的」「体験的」に楽しみながら交通安全を学ぶことを基本コンセプトに、仮想体験などの交通安全学習を通じて、身近に潜む交通事故の危険性や自己防衛の重要性を学ぶ場を提供しています。

第2四半期決算概要（連結）

第2四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	2009年度 (2009年9月30日現在)		科 目	2010年度 (2010年9月30日現在)	
	2009年度	2010年度		2009年度	2010年度
流動資産	80,705	75,875	流動負債	49,471	41,718
現金預金	10,500	12,121	固定負債	14,812	14,149
売上債権	26,760	35,574	負債合計	64,284	55,868
棚卸資産	22,228	6,311	株主資本	50,212	52,914
その他	21,216	21,868	資本金	12,290	12,290
固定資産	34,133	32,903	資本剰余金	14,536	14,536
有形固定資産	28,366	27,387	利益剰余金	24,950	27,655
無形固定資産	349	345	自己株式	△1,564	△1,567
投資その他の資産	5,417	5,170	評価・換算差額等	307	△37
資産合計	114,838	108,778	その他有価証券 評価差額金	269	△0
			為替換算調整勘定	38	△36
			少数株主持分	33	33
			純資産合計	50,554	52,910
			負債純資産合計	114,838	108,778

第2四半期連結累計期間損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	2009年度 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)		2010年度 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)		
	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	
売上高	45,630	54,359	売上原価	41,120	50,411
売上原価	41,120	50,411	販売費及び一般管理費	3,940	3,831
営業利益	570	116	営業外収益	177	170
営業外収益	177	170	営業外費用	185	216
営業外費用	185	216	経常利益	562	70
経常利益	562	70	特別利益	56	55
特別利益	56	55	特別損失	36	152
特別損失	36	152	税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	582	△26
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	582	△26	法人税、住民税及び事業税	211	93
法人税、住民税及び事業税	211	93	法人税等調整額	105	△46
法人税等調整額	105	△46	少数株主損益調整前四半期純損失(△)	-	△74
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	-	△74	少数株主損失(△)	△5	△0
少数株主損失(△)	△5	△0	四半期純利益又は 四半期純損失(△)	271	△73
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	271	△73			

※ 貸借対照表の「現金預金」とキャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物の四半期末残高」の差額については、貸借対照表の流動資産「その他」に「有価証券（譲渡性預金）」が、2009年度及び2010年度に110億円含まれていることによります。

第2四半期連結累計期間キャッシュ・フローの要旨

(単位：百万円)

科 目	2009年度 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)		2010年度 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)		
	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,341	△1,065	投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,160	△1,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,160	△1,316	財務活動によるキャッシュ・フロー	△292	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292	△575	現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△18
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△18	現金及び現金同等物の増減額	△115	△2,976
現金及び現金同等物の増減額	△115	△2,976	現金及び現金同等物の期首残高	21,616	26,097
現金及び現金同等物の期首残高	21,616	26,097	現金及び現金同等物の四半期末残高	21,500	23,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,500	23,121			

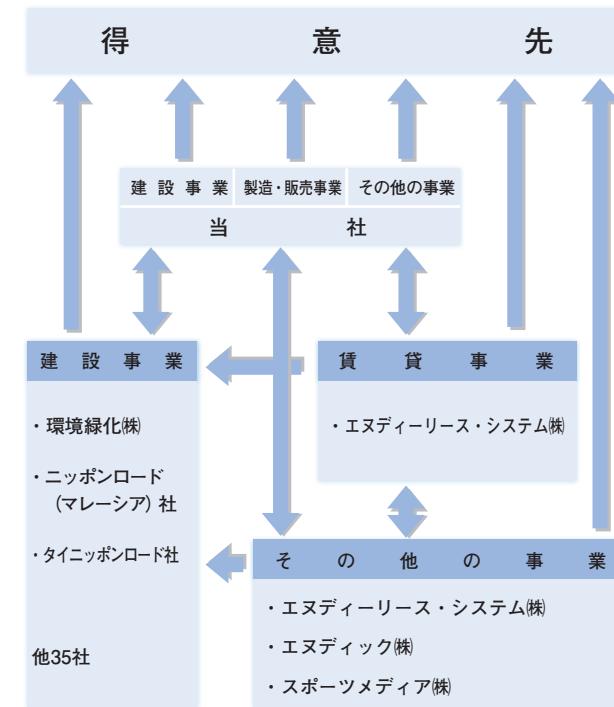
株主資本利益率（ROE）の推移

(%)



連結セグメント情報

事業系統図



セグメント別売上高

(単位：百万円)

